

# 「沖縄・球美の里」



(上)久米島町民のみなさんがプレゼントしてくれた手作りの看板。(下左)ピラミッド型の建物は、ドイツの「おもちゃ館」です。(中央)食堂と宿舎は、陶器工房を改修したものです。(右)クレヨンハウスや日本パンクラブ会員から譲られた車を改めた回遊室。11月、真っ白な外観に変身しました。

## 久米島住民の皆さんへ

日頃暖かいご支援ありがとうございます。  
このチラシはみなさんに私たちの活動をより  
よく知りたいと思います。

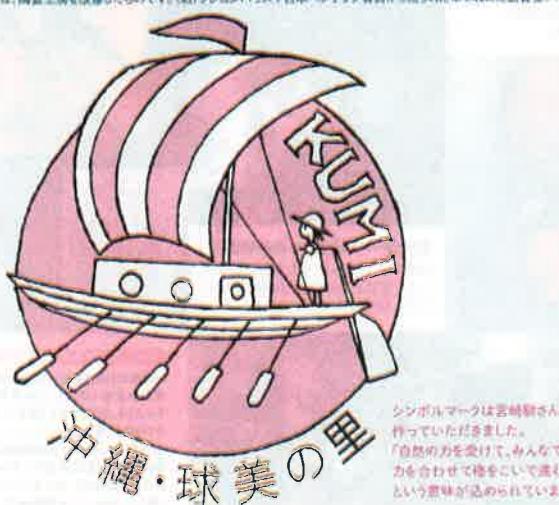
### 久米島の魅力

久米島町、久米島町議会、久米島町会、久米島町親  
光協会、久米島教育委員会、久米島PTA連絡会、久  
米島建設業協会、FM久米島ほか

久米島は、島全体が人間の心身の  
回復を促進する場です。子どもたちと  
母親にすばらしい自然の中で、  
リフレッシュしてもらいます。

子どもたちは、大人が思っている以上に、ストレスを抱えて生活しています。1~2週間でも、自然の中でのびのびと暮らすことが、心身ともにすばらしい効果を上げ、健康に役立ちます。私たちは、2012年7月5日から、毎月約40~50人の子どもと保護者を交代で受け入れています。小中学生の回は子どもだけで、未就学児の回は母親同伴でお迎えします。

NPO法人「沖縄・球美の里」理事長 広河隆一  
(フォトジャーナリスト、月刊DAYS JAPAN専属)



シンボルマークは宮崎駿さんに  
作っていただきました。  
「自然の力を受けて、みんなで  
力を合わせて船をこいで進む」  
という意味が込められています。

## 応募を希望される方へ

2012年7月から2013年12月初めまでに受け入れた母子は1790人。うち子どもは585人です。  
子どもたちの参加費は交通費も滞在費もすべて無料です。資金はほぼ全額が人々の募金によっています。保護者は交通費のみいただきます。(ただし母子とも保護料等は別)

### 今後の計画

- 【募集中の保養】 対象:未就学児と保護者、又は小中学生のみ
  - 第38次 2015年1月21日~1月30日 受付12/19まで
  - 第39次 2015年2月9日~2月18日 受付1/10まで
  - 第40次 2015年3月5日~3月14日(仮) 受付2/5まで
- ※40次の日程は予定ですで23日前後するところがございます  
※最新の情報はHPをご確認下さい  
定員になり次第、締めになりますので、お早めにお申込下さい  
《申込・問合せ》  
0246-92-2526 又は 080-5844-0788 委託:のざき



### プログラム(天候・季節によって異なります)

アドベンチャー効果がある海辺深層水のブルー、東洋一と言われるハナの浜、カタマラン、ウミガメ館、島の生物観察、貝がら拾い、貝殻細工、アートによる写真教室、沖縄のお菓子作り、野菜の収穫、アロマテラピー、理と子のヨガ教室、沖縄の歴史の学習、ピラミッドのおもちゃ館、海洋温度差発電見学、島の子どもたちとの交流、手話の体験、なんくるさんによる沖縄民謡と踊り、久米島紬のユイマール館での体験など。

「沖縄・球美の里」へこれまでに、プロの音楽家、絵本作家、アロマテラピーの先生など多くの方が参加してください。

### 食事とおやつ

久米島の食材を中心にして、体に優しい食事とおやつを提供します。  
作ってくださるのも島民の方々です。野菜や果物は、九州や沖縄、  
とりわけ久米島の農家の方々からご寄付いただいた新鮮なものも  
多くあります。

### ボランティアのご希望について

ボランティア希望者は、ホームページをお読みになり、志募用紙と履歴書をお送りの上、お申し込みください。インターン募集証明書をご希望の方は、そのようにお申し出ください。

### 募金について

「沖縄・球美の里」の運営はすべて募金で賄っています。

- A.一般の募金(いくらからでも歓迎です)
- B.一人の子ども(あるいは一組の母子)を受け入れる「スポンサーシップ」として募金(1口5万円)  
お送り先は郵便振替口座  
00180-5-763988  
DAY'S被災児童支援基金

**一生忘れられない  
すばらしい思い出をいっぱい作る  
球美の里の毎日です。**  
**久米島は  
パワースポットにあふれた  
癒しの島です。  
すばらしい自然に抱かれて  
元気いっぱいになります。**

**沖縄・希望 21**

**矢ヶ崎克馬(琉球大学名誉教授)**  
沖縄・球美の里は市民力によって「親の尊嚴」を守る貴重なオアシスです。

**ナターシャ・グジー(歌手)**  
一人でも多くの子どもたちが「球美の里」で空気を吸い、外で遊び、たくさん笑うことができる様にこれからも応援させていただきます。

**石井竜也(アーティスト)**  
久米島に説教された。  
この施設は、多くの人の真心が作り出した奇跡の場所です。  
自然とは何か? 人とはどうあるべきか?  
海はどう? 山はどう?  
ここにはなぜか、その全ての答えが隠れている気がしてなりません。

**大田昌秀(元沖縄県知事)**  
『沖縄・球美の里』が難航にその使命を果たしつづけることは、ご想像の通りです。私たちは豪勢の子どもたちを心から歓迎するとともに『球美の里』が今後ますます発展されるよう常に念頭に止みません。

**平良朝幸(沖縄県久米島町長)**

施設開所から1年間が月過ぎ、保護参加人数も母子合わせて720人を超えた。その間の球美の里スタッフの皆様、そして日々の保育プログラムを側面から支えてくれているボランティアの皆様の献身的な姿は、大変頭が下がる思いです。久米島町として、今後一人でも多くの子どもたちが、久米島で心身ともにリフレッシュできるよう、可能な限りの支援を続けてまいります。

**加藤登紀子(歌手)**

福島の子どもたちへの、社会的な感心が薄れていますのが心配。この状況にめげず、子どもたちをのびのび育てていけるよう手を貸しましょう。

**宮崎駿(映画監督、球美の里のロゴ製作)**

理事長が宿直をやっているときいて、こりやあ、いかん。ばくが代わりにと思うほど、やっぱり役に立たないと思う。  
がんばれ、球美の里!

**ピーター・バラカン(音楽評論家)**  
福島の子どもたちは、少しでも汚染されていない空気が吸えるとこに連れて行けばいいです。球美の里に拍手を送ります。

**NPO法人吉野家美の里監修人会議**  
山田洋次(映画監督)、宮崎駿(監督)、吉永小百合(俳優)、石井竜也(アーティスト)、加藤登紀子(歌手)、落合恵子(作家)、坂本龍一(アーティスト)、U.A.(歌手)、浅尾省五(動物写真家)、斎藤実奈子(文芸評論家)、田中誠(未来パンク理事長)、おじどりマコ&ケン(大人)、OKI(アイヌ音楽家)、吉本多香美(女優)、荒木洋(画家)、RAINBOW TAXI(レゲエ・ミュージシャン)、中川徹(ソウル・フューチュニオン)、上杉雅(ジャーナリスト)、天童荒太(作歌)、竹村真一(環境人類学者)ほか多くの方々。

**映画監修会議**  
DAYS株式会社代表取締役/DAYS JAPAN、未来の福島ごとも基金

**山田洋次(映画監督)**

福島の子どもたちの危険は、日本中の子どもたちの危険もあることを、ほくたちは忘れてはいけないと思います。球美の里の活動の発信と協議が、この国の反原発、更には反核兵器の運動につながっていくであろうことを願っています。

